

4. 蚕種蚕卵に関する試験研究

蚕種部 山口定次郎・降旗剛寛・滝沢晴子

(1) 倍数性桑葉給与蚕の産卵性に関する研究

倍数性桑樹から収穫される桑葉の蚕への利用については既に関、押金によって報告され(信大繊維報, 9, 1959), また倍数性桑葉を与えた蚕の耐病性についても関, 山口, 降旗, 清水が既に報告している(日蚕中部講演集, XVI, 1959)。現在は倍数性桑葉を与えた蚕が産下する卵の大きさ, 重量, 産卵数から, 更に母体が倍数性桑葉で飼育された場合の次代蚕の飼育成績や産卵性について現在研究中である。

(2) 蚕卵の孵化機構に関する研究

蚕卵の孵化を斉一にするための暗催青法や, 暗催青を行なう時期の適否等についての議論が現在多い。実用的に見て, 卵の孵化を無理なく, 斉一にそろえることはその後の蚕児飼育を良好にするか, 不良にするかに重要な関係がある。これら孵化の実際問題を通してそのメカニズムを追求するための研究を目下計画之中である。

(3) 品種の系統維持

現在一般養蚕家に飼育されている普通蚕種製造用の原種と種々なる突然変異種それぞれ25系統前後を, 研究材料用, 教材用として利用するために毎年継代飼育して系統保存している。